

なくせじん肺北海道キャラバン 11 労基署と7市に要請 労働局・環境事務所などにも

10月3日にスタートした「なくせじん肺北海道キャラバン行動」は、10月9日と10日に道内11の労働基準監督署（札幌中央・札幌東・小樽・函館・室蘭・苫小牧・岩見沢・滝川・旭川・帯広・釧路）と7市（小樽・函館・岩見沢・滝川・旭川・帯広・釧路）に要請しました。

今年はおこなった自治体要請では、「アスベスト被害の救済制度の広報と中皮腫で亡くなった市民の遺族への資料の直接送付」「ハザードマップ作成と公表」「アスベスト除去工事等への補助制度の創設・拡充」「アスベストアナライザー導入」などを求めました。

10月17日には、北海道労働局・北海道産業保安監督部・北海道環境事務所への要請行動をおこないました。労働局要請では、これまで「非公表」としてきた「粉じん作業をおこなっている事業所数（1,870）と監督指導の件数（56）」「トンネル工事の箇所数（44）と監督指導の件数（40）」についてはじめて明らかにされました。（詳細は続報）

新参院議員3人が「トンネルじん肺根絶」賛同署名

7月の参議院選挙で当選した北海道選挙区の高橋はるみ議員（自民党）・岩本剛人議員（自民党）・勝部賢志議員（立憲民主党）から「トンネルじん肺根絶」の賛同署名をいただきました。全国の賛同議員は10月17日現在で581人となっています。

道本部青年部が総会 ～来年5月に「交流会」

道本部大会の1日目（10月6日）の議事終了後に道本部青年部総会が開かれ、函館運送支部の青年2人など5支部から6人が参加しました。総会では、全国青年部の鈴木事務局次長（中央本部書記次長）と道本部の森国委員長から激励のあいさつを受け、1年間の総括をおこないながら、日常的な職場の状況や組合活動について交流し、道本部青年部の役割や建交労学校、道労連青年協などへの参加の重要性などを議論しました。道本部青年部の「交流会」を来年5月23～24日に実施する企画をはじめ、新年度の活動方針を決定しました。

役員は、鈴木青年部長（函館支部）、土井副部長（旭川支部）、土屋事務局長（十勝建設支部）などを再選しました。

北海道鉄道本部「観楓会・パークゴルフ大会」に33人

9月29～30日、北海道鉄道本部の「観楓会&パークゴルフ大会」が白老町でおこなわれ33人が参加しました。パークゴルフ大会では宮武悦雄さん（苗穂支部）が優勝し、商品のコメ10キロを獲得しました。「本命」と見られていた最上暢さん（苗穂支部）は1打差で2位でした。夜の交流会ではビンゴゲームで楽しみ、苗穂支部が賞品をほぼ独占しました。このあとカラオケで楽しく交流しました。